

小田原市が
めざす子どもの姿像

未来を創るたくましい子ども

教育指導の重点（めざす姿）

社会力の育成

学ぶ力

豊かな心

健やかな体

関わる力

基本姿勢

誰一人取り
残さない学びの推進

地域資源を生かした
学びの推進

官民連携による
学びの推進

円滑な接続

こんな幼稚園に！
＝めざす幼稚園像

元気、笑顔があふれる学びの多い幼稚園

＊『全体的な計画』
『やはぎはあと』を活用した保育の実践

こんな先生に！＝めざす教師像

・教育への熱意をもった教師
・豊かな人間性を備えた教師
・組織人として機能する教師

＊全職員で見取りを共有し、環境と援助を探る
＊子どもと一緒に環境をつくる
＊職員間の連携を深める

こんな子どもに！＝めざす子ども像＝教育目標

★重点目標

＊具体的な取り組み

や優しい心をもって、
周りの人や身近な
動植物に関わる子

★周りの人と関わりをもつ
＊異年齢との関わりの方会の保障
★地域の環境を遊びや生活に活用
したり、利用したりし、社会と
のつながりを意識する
★家の人やボランティアとの関わり
を深め、感謝の気持ちをもつ
★地域の人と関わりをもつ
★身近な動植物との接し方を考
え、大切にすることをもち
＊保育ドキュメンテーションの活用

は話をすることや聞くことの
楽しさを感じ、言葉を使って
思いや考えを表現する子

★話すこと、聞くことのおもしろさ
を感じ、楽しむ
＊会話を楽しむ活動の保障
★絵本や物語等に親しみながら、豊
かな言葉や表現を身に付ける
＊絵本活動の推進
（絵本屋・図書コーナー整備）
★あいさつを進んでする
＊あいさつ当番活動

ぎ疑問や興味関心を持ち、遊びや
活動に挑戦し、友達と一緒に
最後までやり遂げる子

★身近な環境に主体的に関わり様々
な活動を楽しむ
★友達と共通の目的に向けて考えたり、
工夫したり、協力したりし、
充実感をもってやり遂げる
★友達と折り合いを付けながらきまり
をつくったり、守ったりする
＊幼児の主体性を尊重した援助と環
境を探る
＊やはぎっ子げんきっ会への取組

★基本的生活習慣を身に付ける

＊個に応じた指導の工夫 ＊家庭との連携を図る

指導の方針

- 1 遊びを中心とした生活を通して、一人一人の幼児の発達やその子らしい行動の仕方や考え方などを理解して、それぞれの特性や発達に応じた総合的な指導を行う。
- 2 2年間の園生活の中で、幼児の主体的な活動が十分確保されるようにすると共に、豊かな体験の中で発見したり、試行錯誤したりし、学ぶ力の基礎を培う。
- 3 幼児が共に過ごす楽しさを味わったり、互いに影響し合ったりする等、集団のもつ教育力を十分に活かすことによって、発達が促されるようにする。
- 4 園と家庭との信頼関係を基盤に互いの役割を見直し、連携を取り合って、教育効果を高める。
- 5 小学校教育との円滑な接続を図り、幼稚園の教育の成果が小学校へつながるようにする。
- 6 地域との連携を広め“地域の中の幼稚園づくり”を推進する。
- 7 子どもの人権、個人情報や危機管理に対する意識をもって保育に当たる。

<令和6年度 矢作幼稚園 グランドデザイン>

小田原市がめざす子ども像

これからの変化の激しく、先の見通しの不透明な社会を生きていく子どもたちは、それぞれが持つ可能性を最大限に発揮し、自分たちの社会を自ら創っていくたくましさや身を付けることが必要です。そのため『未来を創るたくましい子ども』とし、社会力の育成を図れるよう教育環境を整えます。

【社会力の育成】子どもたち一人ひとりが充実した人生を送り、より良い地域社会を創るために『学ぶ力』・『豊かな心』・『健やかな体』・『関わる力』を育みます。

めざす幼稚園像

初めての集団生活となる幼稚園で、自分らしさを発揮しながら、のびのびと楽しく生活できることが大切と考えます。その中で、遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に対象と関わりながら、総合的に学んでいきます。

めざす子ども像＝教育目標

小田原市が目指す子ども像へと成長していくよう、「や・は・ぎ」っ子の育成をめざしていきます。

めざす教師像

教職員一人一人が自己研鑽すると共に、互いに学び合い、高め合いながら、それぞれの資質・能力の向上を図り、子どもの学びと育ちを一番に考える意識の高い教師集団を形成します。「子ども一人一人を信じ抜き、責任感を持つと共に、教師の仕事に対する誇りや情熱を持っている教師」「常に、子どもの人格形成に関わっているという意識をもち、社会性や対人関係能力等の資質を備えている教師」「教育のプロとして、子どもの将来を見据え、保育力を磨くと共に、社会の変化や様々な課題に対応できる指導力を備えている教師」をめざします。

★重点目標 と ＊具体的な取り組み

【めざす子ども像＝教育目標から捉えた矢作の子どもの姿】

<優しい心をもって、周りの人や動植物に関わる子>

- 少子化や様々な影響により、園児数が減少している。園内（4歳児5歳児）の異年齢の関わりをさらに深めていかれるようにしたい。
 - 身近な生き物や植物に対してやさしい心をもっている。飼育物の死や栽培していた花が咲かなかった等の体験から、命の大切さや命を繋ぐことについて、触れる機会となった。
 - 友達を思いやる心をもっている
 - 友達や教師の心配をする姿が見られた。他
- やさしい心が育まれ、身近な動植物や自分を取り巻く人にも関わっていくことができた。関わることで、やさしさがより育まれて繰り返されていく。

<話をすることや聞くことの楽しさを感じ、言葉を使って思いや考えを表現する子>

- 担任以外の先生にも表現できるようになった。
 - 思いをもっていっても言えない子、自信のない子がいた。
 - 個人差が大きい、友達には表現できる、集まりの場面なら表現できる等、それぞれの姿が見られた。他
- 個人差はあるが、一人一人、自分なりの成長は見られた。安心して表現できる場づくり、環境づくりが大切である。

<疑問や興味関心をもち、活動に挑戦し、友達と最後までやり遂げる子>

- 遊びの中で、興味関心を深めたり、疑問をもったり、実際に試したり、挑戦したりする姿が見られた。
 - 鉄棒の逆上がりや短縄跳び、長縄跳び、コマ回しに挑戦する姿が多く見られた。
- 遊びの中での疑問を大切にすることで、子どもたちも疑問を解決するためにいろいろな方法で挑戦する姿が見られた。

【10の姿から捉える矢作の子どもの姿】

<道徳性・規範意識の芽生え> ○基本的生活習慣が身に付かない

<社会生活との関わり> ○地域の人との関わりが少ない ○挨拶の励行 ○家の人（ボランティア）への感謝の気持ちを表す

<言葉による伝え合い> ○現状表現はできるが、次の言葉（どうしたい）が出てこない ○絵本・紙芝居が好き
○嫌なことに対して「やめて。」と言えるように。（本人も周りも）

【めざす教師像から捉えた職員の姿】

○職員間で話し合ったり、記録で伝え合ったりして、遊びや子どもの理解を深め、環境援助を進めてきた。子どもから見て、いろいろなことを実現するために力を貸してくれる魅力的な教師でありつつ、子どもの思いを一番に考え見守れる教師でありたい。

以上の反省を元に、令和6年度の★重点目標と＊具体的な取り組みを決定しました。引き続き★言葉を使って、伝え合う、★“気持ち”を言葉で表現する、★あいさつを進んでする、★基本的生活習慣を身に付けるにつきましては、各家庭でも、ご協力をお願いします。

★言葉を使って、伝え合う★“気持ち”を言葉で表現する

・お子さんが伝える前に、理解し、行動していませんか？あえて、言葉で表現させることを意識してお願いします。

★あいさつを進んでする

・地域の方からも「子どもからあいさつしてくれると嬉しくて。」と、見守っていただいていることが分かる言葉をいただきました。これは、小学生になっても、中学生になってもできるといいですね。近隣の方にあいさつすることを、ぜひ、習慣にしていけるようお願いします。

★基本的生活習慣を身に付ける

・やればできるのですが、やってもらうことを待っている様子がみられます。自分から進んでできるよう、園でも引き出しやロッカーの使い方を見直し、身の回りの整理がしやすいようにしました。衣服の着脱等も、最後まで取り組める時間を確保しています。家庭でも、自分でできるようお願いします。

指導の方針

矢作幼稚園の教育・保育を進めていく上でのやり方・姿勢を示したものです。保護者の皆様との信頼関係がすべての基盤になると考えています。子どもたちのために全力を注いでいる職員を信頼していただき、お子さんの成長を共に見守っていきましょう。

子どもの育ちを支える姿勢

小田原市では「誰一人取り残さない学びの推進」「地域資源を生かした学びの推進」「官民連携による学びの推進」を基本姿勢としています。